

平成30年度における香川県の国民健康保険の概要

1 被保険者数の推計

- 平成30年度における被保険者数（年度平均）は、207,578人と推計。平成28年度平均（218,422人）と比べ、1万人以上の減少。
- 直近の被保険者数の動向では、70歳以上の被保険者数が増加。

2 1人あたり医療費

- 平成30年度における1人あたり医療費は、440,531円と推計。平成28年度（416,459円）と比べ、約2万4,000円の増加。
- 70歳以上の被保険者数の割合が高まったことも増加の要因。

3 県全体の保険給付費等の推計

- 県内の被保険者数、1人あたり医療費をもとに、県全体の保険給付費を推計した。
- 後期高齢者支援金及び介護納付金は、国が示す1人あたり負担見込額をもとに算出した。

4 主な歳入

- 国民健康保険事業費納付金 273億6,660万円
 - ・ 保険給付等の支払いに必要な市町からの納付金（保険料が主）
- 国庫支出金 254億98万円
 - ・ 保険給付費等の支払いに必要な国の負担金等
- 前期高齢者交付金 364億6,374万円
 - ・ 前期高齢者（65～74歳）の偏在による保険者間の負担の均衡を図るための交付金
- 療養給付費等交付金 4億6,248万円
 - ・ 退職被保険者に係る保険給付費等の支払いに必要な交付金

平成30年度における香川県の国民健康保険の概要

5 主な歳出

- 保険給付費等交付金 794億1,957万円
 - ・ 保険給付に必要な費用
- 後期高齢者支援金等 117億5,473万円
 - ・ 後期高齢者に係る給付費等に係る財政支援に要する費用等
- 介護納付金 38億2,874万円
 - ・ 介護保険第2号被保険者（40歳以上65歳未満の被保険者）に係る介護保険料（医療給付等に係る保険料と一体的に徴収したもの）

6 財政安定化基金

- 平成29年度末基金残高 18億1,463万円
 - ・ 本体基金 12億3,399万円
給付増や保険料収納不足等により財源不足が生じた場合に備えるため
 - ・ 特例基金 5億8,064万円
激変緩和など新制度の円滑な施行のため（平成36年3月まで）